



「働く」世代のために▶働く質の向上

働きやすい職場環境の整備



今回のテーマは、「働く」世代のために～働きやすい職場環境の整備～についてお伝えします。

現状と課題

就労環境

- ◆久米島を含む県内離島は、人口の社会減少が加速しており、働く場所と機会を島内に確保することが重要な課題となっています。(施策12 再掲)
- ◆住民アンケートにおいては、職種が少なく、島の物価に対しての賃金が少ないため、条件にあう仕事を見つけにくいといった意見が多くみられました。また、島外で学び資格を取得しても島内で活かすことができないという意見もみられました。
- ◆Iターン※¹・Uターン※²を増やしていくためには、企業誘致やテレワークできる環境の整備、スキルを活かせる仕事に就けるような環境づくりなどが必要です。

※¹Iターン 都会生まれの人が、地方に移住すること。

※²Uターン 地方で生まれ育った人が都会で就職して働き、その後また生まれ育った地方へ戻ること。

仕事を選ぶ上で重視すること（複数回答）



資料：令和2年住民アンケート（n = 482）

施策の展開

働きやすい環境づくり、福利厚生の充実

- ◆労働者数を増やすため、雇用関係助成金等の雇用保険関係の周知強化や久米島商工会と連携し事業所への支援強化に取り組み、働きやすい環境の整備に努めます。
- ◆就労の場面で、全ての女性が輝けるよう、各企業への働きやすい環境づくりを促進・支援するとともに、女性が活躍できる島づくりを推進します。
- ◆企業の遠隔就業（リモートワーク）と観光事業者の連携によるワーケーション※³を推進します。
- ◆島の環境に適した「ニューノーマル※⁴」な働き方の検討や支援を推進します。

※³ワーケーション 休暇中に旅行先でテレワークを行うこと。（ワーク+バケーションからの造語）

※⁴ニューノーマル 新たな常態という意味。構造的な変化が避けられない状況を示唆しています。

目指そう指標

就業率

基準値(平成27年)

目標値(令和7年)

男女 93.3%

女性 93.6%

▶ 97.3%

▶ 97.6%

完全失業率

基準値(平成27年)

目標値(令和7年)

6.7%

▶ 2.7%

後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。

右のQRコードか、「久米島町総合計画」で検索し、ぜひご覧ください▶▶▶

久米島町総合計画

🔍 検索

